

令和2年1月1日 初日の出登山

白木パノラマ孔園から見た、初日の出

江北町の発展と町民皆様のご多幸をお祈りしました

CONTENTS

- 一般質問
- 各常任委員会
- 条例改正
- 各常任委員会視察研修
- 編集後記



町の木／モチノキ



町の花／水仙

山田町長2期目の出馬表明、その公約及び町政に対する思いは



井上敏文
議員

町長 「肥前山口駅」→「肥前江北駅」
駅名改称は町民の皆さんと議論していきたい

議員 町長は9月議会で2期目の出馬表明をした。2期目の選挙公約は、その中で一番やりたいことは。

町長 3年後には町制施行70周年の節目を迎える。また、33年後の町制施行100周年を見据えた基礎づくりをする大事な4年間であり、その政策を公約としてまとめたい。これからのまちづくりは「持続性、多様性、自発性」ということを視点に置いた政策を進めていきたい。

議員 3年後は長崎新幹線リレー方式により、武雄温泉駅で乗り換える便が開業する。この方式により肥前山口駅に停車する便数が減るのではないかと危惧する。この停車便数について町長の考えは。

町長 次の4年間の

チャンスをとただければ駅の利便性の低下を招かないよう駅の活用を図っていく。また、暫定開業に向けての情報収集や町の主張をしっかりとやっていく。

議員 先月末、NHKローカルニュースで一駅名を肥前山口駅から肥前江北駅に変えたい。また、調査費を当初予算に盛り込みたい」との報道があった。その経過と町

長の真意は。

町長 記者との意見交換の中で駅名を変えることについては公約に盛り込みたいと言ったが、当初予算には言っていない。町制施行70周年を迎えるにあたり、駅名改称に向けた署名運動はタイミングを見てやりたい。駅名改称については町民の皆さんと議論した上、町全体で取り組んでいければと考



公約で駅名改称を議論したいとする「肥前山口駅」

8月末の豪雨災害の総括と今後の対応は

町長 排水対策協議会を立ち上げ町全体の排水計画を見直す

えている。

議員 異常気象により、今や集中豪雨の被害は想定外と言えなくなっており、いつ大きな被害に襲われるかわからない。今回は異常とも思える豪雨であり、町長自ら「命を守るための行動をとってください」と防災行政無線で呼びかけた。今回の避難状況の反省点と豪雨災害における総括は。また、今後の対応について町長の見解は。

総務課長 反省点としては、町長自ら呼びかけた時の一番危険な時間帯に避難された方が多かった。また、仮に全員避難をされた場合、避難所が全部対応できるかという問

題もある。避難者を絞り込んで避難指示を出すということが必要ではないかと考える。

議員 これまでの浸水の教訓を生かし、河川流域水系の流れの把握と、ため池を洪水調整池として事前に落水するなど、洪水調整連絡協議会なるものを設置したらどうか。

町長 町内の宅地開発も進み、調整機能も変わってきており、町全体の総合排水計画を見直していきたい。来年の雨季前には町全体の排水対策として水利関係者を含めた協議会を立ち上げ、調整機能を確保していきたい。

三吉紀美子

議員



子どもの安全を

町長 町道東分～祖子分線との南側からの合流部分を早めに確認して対策を検討し準備したい

議員 県の重点目標では、子ども・高齢者の交通事故防止、道路横断中の交通事故の根絶、横断歩道以外の道路横断者の存在と、その危険性の広報啓発の強化、道路を横断する際の確実な安全確認と挙手などの運転者への合図励行の促進、道路横断者に対する積極的な保護誘導、声かけの推進をあげている。

内閣府も交通安全緊急対策を決定し、子どもの安全な交通を確保するための道路交通安全環境の整備の促進、小学校の通学路の合同点検実施継続を決定している。子ども達の朝の通学状況は、学校等での交通安全教育により交通マナーの良さを感じている。

ただ小道から町道に出る際に安全にゆとりのある停止ができて



町道東分～祖子分線との南側からの合流部分

いるのか不安を隠せない。町道に出る小道に白線を引き、必ず止まり、安全を確認し渡る習慣を身につけさせる安全教育をお願いしたい。白線は子どもを守る大切な視点であると思う。

子ども教育課長 今回のご質問は、日頃の交通指導の中で児童生徒への安全安心の思いからだと推察する。交通安全教育は全校集会、ホームルーム等、交通安全教室も毎年実施している。中学校では無事故達成運動を自ら呼びかけている。

建設課長 一旦停止して確認する為の止まれマーク設置を今後検討する。

町長 南側からの合流部分を早めに確認し、対策についても検討し準備をしたい。

高砂団地のこれからについて

議員 建設後40年以上だと思ふ。過去の議員の質問に建てかえない、下水道接続もしいとの答弁。アンケートの内容、集計結果がどうだったのか。また住居の不具合に補修対応はされたか。居住者との話し合いの検討の結果は。

建設課長 住み心地等の満足度調査では満足17%、どちらでもない26%、不満足50%、周辺環境では満足34%、不満足24%。改装要望は一番目に内装、浴槽

の設備、洗面脱衣所の設備で6割。

昨年の調査結果は対象戸数51戸に対して29戸で内装修繕59カ所、外装34カ所。安全面、衛生面では昨年度から優先的に修繕を行っている。玄関ドアの改修は、平成30年度10カ所、31年度9カ所。ドアの改修は防犯上全戸を考えている。

議員 譲渡を望まれたら町としての考えは。

建設課長 土地利用計画が決定しない段階では譲渡は考えていない。

結核の撲滅に向けて

議員 結核は昔の病気と多くの人が思われているが、日本で10万人に対し新登録結核患者約1万7千人、罹患率13%、死亡者数約2千3百人、死亡率1.8%。一日に新患者46人が発生し6人が死亡している。秋篠宮妃殿下総裁のもと主婦の力で結核を無くそうをスローガンに健康を守る婦人会も頑張っている。

年に一回県庁表敬訪問で複十字シール運動実施への協力を呼び掛けている。市町長を表敬訪問して県内で広く複十字シール運動の輪を広げようとの思いでの今回の質問である。

福祉課長 結核対策として65歳以上の結核検診、子どものBCG予防接種を実施している。情報共有しながら結核対策を進めて行きたい。

町長 官民連携で同じ目的に向かいそれぞれの役割で取り組んでいるので独自の活動の団体の表敬訪問を断る理由はひとつもない。

池田和幸
議員



交通事故を減らすには

町長 交差点のカラー舗装も含めて、横断幕の設置を要望していく

議員 令和元年10月末の都道府県別交通事故発生状況で、発生件数は31万2,503件で、前年度と比較して11.5%の減少。佐賀県は4,172件で12.3%の減で全国平均よりも減少している。

令和元年9月末の市町別交通事故発生状況では、町は発生件数54件で前年同期比(+)1.死者数は1人で(+)1、負傷者数は69人で(+)12人。人口千人当たりの発生件数5.7件で順位は2位と高い位置にある。

全国的には減少傾向にある交通事故が我が町ではあまり減少していない要因は何か。

総務課長 国道34号、同じく207号があることが一番の要因では。

議員 交通安全対策協議会の開催状況と審議内容は。

総務課長 平成28年度

から年3回開催をしている。協議会のメンバーは、町の3役、白石警察署長、交通課長、議会議員、区長会長、老人会長、母の会代表、小中学校校長等、総勢21名で構成している。内容は、4ヶ月おきの開催で警察の方から県内の交通情勢、事故状況の分析等を含めて報告を受けている。

町長 関係者が定期的に集まり情報を共有し、意見交換をして具体的な活動に繋げていく必要がある。今年度はプラカードを持ち、ネイブル前で重点的に立哨活動を行っている。

議員 通学路・スワールゾーンであることを強調することが安全対策に繋がるのでは。

こども教育課長 小学校は総延長42km、中学校は55kmを通学路と指定している。地区の懇談会の要望箇所につい

て、通学路安全推進会議で交通安全や防犯の観点から危険があると認められる箇所の現地確認を含め協議している。最近では、歩道だまりにおける防護柵、ガードパイプの設置を要望している。

議員 歩道のカラー舗装が安全対策としての効果があると言われるが。

建設課長 必要な箇所については、路側帯のカラー舗装や外側線による歩道空間の確保、対策を行っている。

町長 歩道のカラー舗装化、交差点のカラー舗装も含めて、通学路に限らず町全体の安全対策はソフト的に総務課、ハード的に建設課が担当している。歩道のない通学路の安全対策は、あまり進んでいないので、計画的にまず子どもの安全を考え

て行う必要がある。



「通学路」の看板標識を望む

議員 小学校前の黄色と白の横断歩道の配色は町で対応できるのか。

建設課長 警察との協議を行い町で対応することは可能で、今後は通学路で信号がない所から優先的に対応を考

える。

議員 歩道に設ける縁石は、歩行者の安全な通行を確保するため、15cm以上であるが、高くなる検討は。

建設課長 町内の通学路は、ほぼ大半の路線が20cmの高さで整備し

ている。

議員 小・中学校の前の道路に通学路の表示看板がないのは何故か。

こども教育課長 関係機関と協議をし、表示ができるかを検討する。

議員 交通事故を減らすために、朝の立哨活動や青パトによる防犯活動等、色々な取り組みをしているが、他の考えはあるのか。

町長 東分交差点の歩道橋に横断幕の設置をきちんと要望していく。

吉岡隆幸
議員



江北町発展に向けての 町長の考えを聞きたい

町長 山口駅を中心とした、わが町の発展を推進



町道門前～観音下線

議員 江北町では、雇用の場を広げるための企業誘致の考えと、工場団地の土地の調査をおこなったが、その後の方向はどうなったのか。門前～観音下線の延長で、県に対する要望の状況はどうなっているのか又、完成時期の予定はいつ頃か。

産業課長 工場団地の調査は、町内の道路の状況や宅地をはずした比較的まとまりのある地区、12か所を二次候補として設定し、交通アクセス、防災リスクの検討を行い、門前地区、観音下地区に適地として決定した。今回の調査は、工場団地を造ることに直結するものではなく、将来、企業が来る可能性があるときに、基礎資料をもとに誘致の進展を図ることを目的としている。

建設課長 門前～観音下の道路に関しては陳情を行い、早く完成できるよう努力する。

議員 企業誘致に力を入れ、雇用の場を増やす事により、わが町の人口減少を防げると思う。将来の若者の為に職場を確保する努力をしてほしい。

町長 我が町は交通の要衝である。江北町に住んでいけば、県内と言わず県外にも仕事に行ける交通の利便性を町が有しているこの状況で、経費をかけリスクを背負って、工場団地を作る必要があるかと言ったことである。

議員 肥前山口駅北口の開発について、町長希望である、昔にぎわいを少しでも取り戻すという方策を、2期目の目標として考えてもらいたい。

町長 北口に関しては今のところ、安全対策事業しか正式には事業化されていない。事業完成後、新たな開発については、再度、県に交渉となる。

議員 築70年以上経過した建物が取り壊され、安全を守るための歩道ができる。その一方で、景観はよくなるが、今まで営業してい

た商店が、なくなるといふ現実をみて、町として対策を考えるべきではないか。

町長 町に肥前山口という駅を持っているという事は、町の貴重な財産である。町、駅が一体となり、発展をしていくような対策

を考え実行する。駅名の改称も検討し、我が町の駅だと町民に認識をしてもらい、駅を活かすという考えを持っていただきたい。

議員 これからも、駅を利用する人たちの憩いの場所として考えてほしい。



JR肥前山口駅北口道路

農業用ため池の防災対策

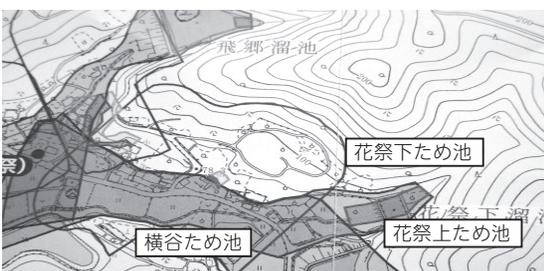


ふちがみまきあき
 村上正昭 議員

町長 制度や現況を把握した上で必要な対策を早急に講じていく

議員 平成30年7月の西日本豪雨で、防災重点ため池に選定されていない小規模なため池で甚大な人的被害等が発生したことを受けて、平成30年11月、新たな防災重点ため池の選定の考え方や緊急時の迅速な避難行動につなげる対策、施設機能の適切な維持、補強に向けた対策などの進め方が示された。

県は市町の協力のもと、新たな選定基準に基づき防災重点ため池が再選定されたが、新たな選定基準と箇所数は。



土砂災害特別警戒区域等を示したハザードマップ

ン以上。③ため池から500メートル以上の浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量5,000トン以上。④ため池の規模、構造、地形的条件、家屋、公共施設等の位置の関係、維持管理の状況、上流域の地域指定の状況、崩壊地の土質及び地形等から、都道府県または市町村が特に認めるものとなっている。また、箇所数は30カ所のため池のうち、22カ所が防災重点ため池である。

議員 防災重点ため池から外れた8カ所のため池の名称は。

建設課長 白木ため池、前久保ため池、芦堤ため池、宝満ため池、木下ため池、花祭上ため池、花祭下ため池、横谷ため池である。

議員 花祭上ため池及び花祭下ため池の上流域は、土砂災害特別警戒区域になっているが、



花祭上ため池の状況



花祭下ため池の状況

選定基準④の上流域の地域指定の状況、崩壊地の土質及び地形等から、防災重点ため池に該当しないのか。

また、横谷ため池は、花祭ゴルフ場内にあるが、農業用ため池として活用しているか。

建設課長 再度、選定基準内容を精査し、見直しが必要であれば県と協議をする。また、横谷ため池については、ゴルフ場が開発された当時、ゴルフ場と花祭区と町で3者協定を結び、横谷ため池から取水をしていたが、現在は取水していない。

議員 ため池に対する防災対策について、今後の進め方は。

町長 制度や現況を把握した上で必要な対策を早急に講じていく。また、町全体における排水計画を来年の雨季までには策定する必要がある。



大豆田の被害状況

議員 本町としてこのまでの対応と、今後の対応は。

産業課長 豪雨発生後、町内巡回による状況調査を行い、その後も畜産農家、施設園芸、花卉等への個別訪問を行った。また、町長も関係機関への要望活動を行っている。今後、県の補助事業等を活用し、被害農家の皆さんの負担軽減になるよう努めたい。

※防災重点ため池とは、決壊した場合の浸水区域内に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

石津圭太

議員



江北町がピンチ!! 保育士不足!! 待機児童に待ったナシ!!

町長 最優先課題の一つは待機児童解消

議員 保育の無償化により、待機児童問題、保育士不足に拍車がかかっている。

我が町では保育士紹介キャンペーンと就職支援給付金制度が施行された。紹介者にも謝礼をするという大キャンペーンであり、町内外に周知する方法はないか質問、提案をしたい。

江北町の飲食店にポスターを貼ってもらいSNSを活用し、保育士限定の街コンを主催し、参加した保育士の飲食代を町から補助してはどうか。

子ども教育課長 3月末迄に保育士確保を急いでいる。すぐにでも見つければ良いが、時間がかかるのであればどうかと思う。

町長 待機児童の解消については来年度以降も取り組む必要がある。

子ども教育課長 近年の保育ニーズについて、全体の需要数は、平成28年度311名

平成29年度307名
平成30年度313名
令和元年度366名
来年度は現在382名だが400名を超える状況。

令和4年度頃まで増加し、その後緩やかに減少していく見込みである。

議員 他の市町も保育士不足の問題を抱えており、我が町の保育士もヘッドハンティングされる可能性がある。

町内外の保育士にアンケートに協力してもらった結果、給料、職場の環境、施設の保育方針を重視するという回答が多かった。再度見直す必要があるのでは。

教育長 園長会等にも働きかけをし、よりよ

い保育になる様に検討していく必要がある。

町長 少なくとも、現時点を輪切りすれば、町の最優先課題の一つは待機児童の解消だと思っている。

議員 4月までに最低必要な保育士の人数は。

子ども教育課長 目標は12名。

議員 町のピンチだと思っ。

キャンペーンの募集期間が令和2年3月31日までなので町内外にもっとアピールしてほしい。

保育士 急募!!

町内保育ニーズの推計

	定員	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
全体需要数		311	307	313	366	382	388	395	382	365	354	343
全体供給数		308	302	318	366	403	410	427	399	372	358	346
江北保育園	100	120	112	128	65							
永林寺保育園	101	107	110	112	111							
江北ひかり保育園	132				114							
なのはな	19		19	19	19							
町外保育所		81	61	59	57							

※江北保育園受入れ年齢



避難所の受け入れ態勢は充分か



江頭義彦
議員

町長 きちんと整理し、早い段階で整備をする必要がある

議員 令和元年は例年になく全国的に災害が多い年となった。比較的災害が少ないと言われる佐賀県でも8月末の佐賀豪雨により近隣市町で甚大な被害が発生した。風水害のみならず地震・津波等の災害もいつ何時に起こり得るかもわからない状況にあることを認識しておく必要がある。

8月末の豪雨で避難された方の状況は。

総務課長 自主避難所の町公民館に4世帯14名、老人福祉センターに20世帯40名、ネイブルに75世帯222名の計、99世帯276名であった。

議員 避難所の運営において、今後の課題は。

総務課長 ペットの避難所確保。テレビ、携帯電話の充電器の不備。避難時期については、早目早目の避難をお願いしたい。一番危険な時は、

移動をさせ、垂直避難等「命を守る行動」をとってほしい。

町長 避難所に備えておくべきものを整理し、整備したい。また、差し迫った状況での「命を守る行動」がどういう行動なのか。理解いただけるような情報の出し方を工夫したい。

議員 福祉避難所は、どこが利用できるか。

総務課長 老人福祉センターのデイサービスルームとネイブル横の保健センターを指定。また、平成26年に社会福祉法人「るんびに園」と介護保険施設「しゃくなげ」と協定を結んでいる。

議員 体育館等の大型避難所に空調設備が必要ではないか。

町長 避難者に避難していただけのような避難所の環境整備について、全体的に見直しをしていきたい。



被害が大きく、避難生活が長期化した地域が多かった（他県の例）

町主催の就職相談会の開催を

町長 住みやすさの実感を発信したい
～町政施行70年を見据えて～

議員 今年度は町関係者のご努力と保育士OG（経験者）の方のご協力で待機児童ゼロが

実現できたと承知している。来年度についても保育士の不足が考えられ、町では、新たに

保育士紹介キャンペーンを実施されている。持続的な保育士等の確保のために町主催の就職相談会等を実施しては。

こども教育課長 江北町で学び育った新卒者やU・J・ターン者をいかに町へ受け入れるかは人口減対策として取り組むべき重要な課題である。町のサポーターになっていただけるような人材を育成したい。

産業課長 地方でも、人口減少、高齢化等により、人手不足の課題に直面している。県の取り組みである佐賀さいいこうU・J・ターン就職応援事業を活用して、町内企業へも登録を推進していきたい。

町長 暮らしやすさ、安全・安心、便利さを充実させるための政策、施策、事務事業の推進を図り、定住人口の増加につなげたい。

総務常任委員会

一般会計補正予算

問 農業振興の補助金等が途中で変更になった場合の対応は。

政策課長代理 予算の組み換えを行い、生じた不足分を今回計上している。

問 マイナンバーカードの取得率及び今後の周知は。

町民課長代理 12月1日現在で793件。今回、ウェブカメラを導入し、申請サポートを行う。取得推進のために、広報にて数カ月間マイナンバー関連の特集を組む。

問 マイナンバーカードの今後の利用方法は。

町民課長 今後は、健康保険証がマイナンバーカードに代わって

いく方向である。

問 児童館うるるの砂場の経年劣化とは。

こども教育課長 開園から8年。木の枠が割れてささくれが生じ、

危険である。

問 小学校の教師用教科書、デジタル教科書の補正予算とは。

こども教育課長 来年度から小学校で使用される教科書、指導書、

デジタル教科書のインストール代。

問 2020オリンピックのぼり旗は業務委託ということだが。

こども教育課長代理 ガードマンは5月11日配置予定。聖火ランナーのユニホームは、オリンピック組織委員会から支給される。

問 ベトナムからの転入生の支援は。

こども教育課長教育係長 国際交流協会の派遣事業については、週あたり8時間、上限1日あたり2時間の規定がある。そこで、1日最低4時間は町の日本語学習のための支援員で補いたい。

江北町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について

問 給与の見直しは。



高砂グラウンドの災害現場の状況説明

総務課長 会計年度任用職員になるか、委託になるか、仕事の自身を精査して決めたい。他町の状況を確認して他町より低くならないようにしたい。

問 特別休暇については。

総務課行政係長 特別休暇については、規則で定める形で、国の非

常勤職員と同等の特別休暇を考えている。

問 休暇等に関する条例については。

総務課行政係長 非常勤の嘱託職員の要綱があるが、その中で年次有給休暇と公民権行使のための休暇はこれまでも認められている。

問 今回、募集の保育士の給与について

は。

総務課行政係長 フルタイムの勤務の場合、三園で水準が保てるように号給の格付を行いたい。

問 B & G の監視員は。

総務課行政係長 委託で考えている。マイワロバスの運転手も同様に考えている。

江北町印鑑条例の二部を改正する条例について

問 成年被後見人が印鑑登録をするには。

町民課長 本人と後見人に来ていただき意思確認をする。

問 本人通知制度も行つか。

町民課主幹 本人通知制度は住民票の写しや戸籍謄本等が対象。

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

問 今まで改正する



全天候スポーツ広場



B&G体育館



直売所・だいちの家



ふれあい交流センター ネイブル



だいちの家/トイレ

条例はなかったのか。

福祉課長代理 上位法が変わっておらず、今まであっていない。

江北町老人福祉センターの指定管理者の指定について

問 基本協定書を付けてほしい。

福祉課長代理 基本協定書の概要として添付したい。

問 管理施設としては、福祉センター、体育館、全天候グラウン

ドがあるが、駐車場については何か規定があるのか。

福祉課長代理 駐車場の管理も協定書の中にあるので管理も全体的にお願いしている。

問 どこまで指定管理で任せてあるのか。

福祉課長代理 建物、敷地内の外構、植栽、駐車場、倉庫が管理対象となっている。管理ができていない植栽等があれば指摘してほしい。

産業常任委員会

江北町一般会計補正予算(第7号)について

衛生費

問 飼い猫の去勢手術等の補助は何匹を予定しているか。

環境課長 雄10匹、雌10匹を見込んでおり、補助金は、1匹あたり雄3千円、雌5千円の計8万円を計上しているが、すでに雌10匹、雄が7匹出しており、不足が見込まれるため補正をお願いしている。

問 ごみ処理センターの分別の件の協議の結果は。

環境課長 現在、江北町他3市町が分別を実施している。

分別については当面継続していく方針だが、ゴミ処理センター自体の処理量が予想を

上回っていることから他の市町についても分別を呼びかけている。

問 管理不全の住宅に猫が多数住み着いており、近所の方も餌を与えるなどしている。行政としての手立てはないか。

環境課長 県の補助を活用した地域猫活動の取り組み事例がある。今のところ町独自の取り組みは考えていないため、こうした県の事業を活用していけ

産業常任委員会被災現場視察の様子



岳地区



鹿ノ口ため池



門前地区



町道高砂～門前線

条例改正

ればと考えている。

- 一、江北町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
- 一、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 一、江北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 一、江北町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 一、江北町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 一、江北町印鑑条例の一部を改正する条例
- 一、災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例(全云致で採択)

総務常任委員会

(11月28日～29日)

【熊本県上益城郡甲佐町】

「花と緑と鮎の町」とアピールされている甲佐町。研修内容は、①町史編さんに係る組織編成。②町史編さんのスケジュール。③町史編さんへの議員の関わり。



甲佐町教育委員会との質疑の様子

り。④町史完成後の町民の反応についての詳しい説明を受けた。

郷土に敬意を表して甲佐町史を記し、次にさらに受け継ぐという編さん事業の熱き思いをしつかり受け止める事ができ、私たち委員の夢も広がった一日だった。



西原村復興建設課より災害状況の説明

【熊本県阿蘇郡西原村】

研修内容は、①熊本地震による被害の状況。②復興事業計画の内容及び進捗状況。③復興事業完了の現場を視察し、詳しい説明を受けた。

現地視察では、災害公営住宅村内2カ所

の内、1カ所を行った。

どの住宅も木の温かみを感じられ、玄関や縁側が向かい合わせになっており、コミュニティ形成に配慮した住宅の配置に工夫が見られた。駐車場から家

までバリアフリーが徹底され、うらやましく感じた。「災害は忘れ



西原村が整備された、災害公営住宅整備事業のバリアフリー化

る暇無くやってくる」やってくるはいけない災害だが、自力再建が難しい被災者にやさしい心くばりの行政に拍手の思いだった。

常任委員会 視察委員

委員長 三苫 紀美子

副委員長 池田 和幸

西原 好文

江頭 義彦

石津 圭太

産業常任委員会

(11月26日～27日)

【福岡市・北九州市】

本町で11月2日に竣工を終えた公園カフェ事業に関連して、その類似した施設を研修することを目的とし、福岡県宮天神中央公園と隣接する福岡市宮水上公園を、また、翌日には北九州市宮勝山公園を視察した。

福岡市天神中央公園中州エリア再生事業における対象公園施設については、一般公募型プロポーザル方式により選考が行われ、公園整備のコンセプトとして「寂しい印象の公園から、賑わいのある新たな交流拠点を創出

する公園に!!」を掲げた西鉄の案が採用されていた。

公園内の施設、及び店舗は西鉄が管理運営されており、公園を訪れる人々の憩いの場として洗練されたデザインのカフェやバーなどが設置され、特に全国でも人気のあるベーカーリーショップにおいては平日昼間にもかかわらず沢山の人で



洗練されたデザインのカフェ

天神エリアと中州エリアを繋ぐ中央公園を新たに再生事業として整備された。



賑わっていた。

北九州市

研修二日目は北九州市が運営している勝

山公園を視察。公園内は小倉城もあり、観光客が多く見受けられた。

公園内に全国チェーン店であるコマダ珈琲店が公募型設置管理(ParkPF)で便益施設として進出したものである。公園利用者の利便性の向上に資する飲食店、売店等を設置するものであり、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の公園施設等

の改修を一体的に行うものである。今回の事務調査は、公園内のカフェ等の運営についての視察を行ったが、わが町のみんなの公園が江北町のシンボリックな存在となり、カフェ等の運営についてもイベントなどで創意工夫の上っかかりとした運営を願っている。



勝山公園内のコマダ珈琲店

観音下のもぐら打ち



もぐら打ちは、農作物の豊作や家内繁盛、無病息災を祈る正月の子ども行事の一つ。観音下では、この伝統行事が毎年行われており、寒い中元気がいっぱいの子どもたちの掛け声が遠くからでも聞こえ、風物詩となっている。

高齢化が進み、地域の結び付きも希薄になる中、もぐら打ちは世代を超えた貴重な交流の場となっている。

観音下のもぐら打ち

本年正月十四日のもぐら打ち
ねぎだい叩いて祝申そう
なれなれ柿の木 千なれ万なれ
明日の晩までなれ
よそんもんのちんぎるときや
堀の真中落ちろ
うちんもんのちんぎるときや
畑の真中落ちろ
おかちんのよごんでも太かとから
おくんさい

編集後記

江北町は多くの自然が残る。閉会中の被災現場視察で、池の半分が土砂で埋まった池を視察した。

池には、絶滅危惧種のカスミサンショウウオが生息し、他にも、ヤゴ、カワニナなどがいた。少年時代は、川や田で水生生物を普通に見ることができた。子どもたちが自然と触れ合える経験は知識だけでなく、創造力や、集中力を高め、メンタルヘルスを健全に保つ効果もあるそう。むろん郷土愛も。

今の子どもは、直接的に自然と触れ合う機会が少ない。触れ合いで得られるメリットを享受するための時間を我々大人たちが作っていかなければならぬと強く感じました。まだまだ寒い日がつづくと思いが、ご自愛くださいますように。

(金丸)

広報編集委員

委員長	三苦 紀美子
副委員長	池田 和幸
江頭 義彦	石津 圭太
金丸 祐樹	